

2025 年度上半期開講

受講生大歓迎！

京都学講座

死のすがた

- 地獄？極楽？ こわくて気になる、その先の世界 -

「死」は誰しもが迎えるものであり、避けえぬものです。それは太古の昔から逃れる者はなく、恐れとともに畏敬の念を抱かせる、人にとって重要なテーマとなりました。

死は地獄などの恐ろしく耐え難いものだけでなく、極楽浄土などの幸せで清らかなものでもあると考えられ、それはいつしか日本人の死生観として根付き、数々の思想に息づいてさまざまな形で表現されてきたのです。今回の京都学講座では、古の人々が死をどのように捉えていたのか、死をどのように形づくり表現していたのか学びましょう。

4/19 (土) 「死のイメージを探る -日本における死生観の諸相-」

花園大学文学部教授 福島恒徳氏

5/17 (土) 「九相図 死を想え、今を生きよ」

立教大学大学院非常勤講師 西山美香氏

6/21 (土) 「禅僧の遺偈 (ゆいげ)」

妙心寺宗務本所特別研究員 志水一行氏

7/19 (土) 「『往生要集』で説かれる死生観」

花園大学文学部教授 師茂樹氏

8/16 (土) 「大文字焼きとは違う”五山送り火”から読み解く
京都人の他界観」

京都美術工芸大学 芸術学部 准教授 田中正流氏

9/20 (土) 「仏涅槃 (ぶつねはん) -仏教における究極の死-」

花園大学文学部教授 福島恒徳氏

日 時：2025/4/19 (土) ~ 9/20 (土) 第三土曜日開催

13：15 開演 (12：45 開場) 料 金：1回受講 1,500 円

※予約不要。開催日当日の開演時間までに、サールナートホール2階にお越しください。

主 催：宝泰寺 協力：花園大学 (株)サールナートホール※講師や内容に変更がある場合もございます。

お問合せ：サールナートホール TEL054-273-7450